

# 東京都内での花壇作り～幼稚園での花壇計画～

作成者：東京都花き振興協議会

株式会社フラワーオークションジャパン 村松 得至

## ■ 実施主体

名称：東京都花き振興協議会

担当窓口：事務局 府中 保子

所在地：東京都大田区東海2-2-1

株式会社大田花き内

■ 団体等構成 花き卸売会社、仲卸業者、花き小売店  
関連事業者

■ 取組地域 東京都大田区



## ■ 概要

幼稚園の園庭にある花壇に、園児と共に花苗を植える花育活動を行い、活動を通して、花や植物に親しみ育てるために大切な花壇の土などについても関心を持つきっかけを作る。花を育てることによって、精神的な成長を促進し、将来の花き愛好者を育てる。幼少期に花や植物に親しむことは、情操教育として大変重要であり、協議会として積極的に取り組みを行っている。

## ■ 取組開始時期・経緯

平成25年度より幼稚園、小学校の授業において、花壇作りを通じた花育を実施してきたが、この度大田区内の幼稚園より花壇作りの要望があり、協議会として対応することとなった。

## ■ 目的（目標）

花壇での活動を通して、土は汚いものではなく、植物を育てる上で必要不可欠なものであることを理解してもらう。

幼少期に、花や植物の美しさを体験してもらうことで、花に関心や興味を持ち素晴らしさを知ってもらう。小さい頃から花にふれることで、花は大人になってからも身近なものとなり、将来の花の消費に繋がることも期待する。

子供たちが、植物栽培に関わる体験を通して、命の大切さを学び、心の教育につなげる。

【取り組み内容】

- 対象者・人数：5歳児 38名
- 所要時間：90分
- 対象場所：幼稚園
- 指導者：1クラス講師1名、アシスタント1名

- 資材：・腐葉土  
・肥料

- 花材：・ビオラ苗  
・ストック苗  
・金魚草苗  
・チューリップ球根

- 用具：・スコップ  
・シャベル  
・ジョウロ

■ 活動内容（指導内容）

1. 花の流通について

①花の市場の話

「お店の花はどこから来るんだろう？」

※右図：参考資料

②市場のしくみについて

全国の花農家の花は、トラックで市場に運ばれてくる。

外国の花も船や飛行機で運ばれてくる。

③小売業（お花屋さん）

市場で買い付けた花や植物は、それぞれのお店に運ばれていく。

（花屋、スーパー、コンビニ、園芸店、ガーデンセンター、ホームセンターなど）



花苗や使用する道具を用意



説明資料：「花や緑友達になろう」抜粋

## 2. 花を育てるための土作りについて

### ①土の特性を学ぶ

- ・良い土とは、水はけが良く、水持ちが良い、通気性の良い土。

### ②土作りの方法を学ぶ

- ・腐葉土や肥料を花壇に混ぜる。

### ③植栽前に耕すことを学ぶ

- ・花壇の土を耕して空気を含ませてふかふかにする。

## 3. 花苗について

### ①花の種類を覚える

- ・季節の花の名前を覚える。

### ②花の特性を学ぶ

- ・花や植物には、それぞれに適した環境がある。
- ・開花の季節や生育時期などを知る。



花壇を土を耕してから植える

### ③根の役割を学ぶ

- ・根は、地上にでている植物の体を支えている。
- ・生長するために必要な養分を蓄える。
- ・水や養分を体の中に取り入れる。

## 4. 植栽後の手入れ方法について

### ①水やりの方法

- ・土の表面がかわいたらたっぷりと水を与える。
- ・花の根元に水をかける。



植えたら水やりをする

### ②日光の大切さ

- ・植物は、太陽光を使って栄養づくりをすることを光合成と言う。太陽の光がないと育たない。

## ■ 指導のポイント

1. 花の名前を覚える。
2. 土の特性を理解する。
3. 花の手入れ方法を学ぶ。
4. 命の大切さを学ぶ。

■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

1. 植物の特性を説明することで、植物に対する理解や関心を深める。
2. 園児の目線に立って、土作りについてわかりやすい言葉で説明を実施。
3. 気軽に植物に触れる機会をつくることで、植物を身近に感じてもらう。

■ 経費：園児1人当たり 700円（税込み）の予算で花苗、腐葉土、肥料を購入した

■ これまでの成果

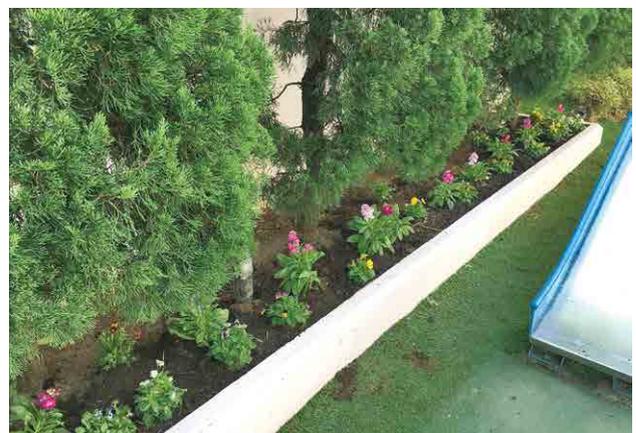
1. 多くの児童に、花に対して親しみを覚えてもらうことができた。
2. 植物を育てる喜びや花を美しいと感じるもらうことができた。

■ 参加者からの感想（児童、生徒、保護者、教員）

1. 楽しく花に親しむことができた。（生徒）
2. 子どもたちが花壇作りを協力して行うことにより、集団行動の重要性と協調性の大切さを習得できた。（保護者）
3. 当番の園児が毎日水やりをし、自分達の植えた花を大事にお世話する意識を育てる機会となった。（教員）
4. 私達大人の意識を高めていかねばならないと改めて振り返る機会となった。（保護者）

■ 今後の課題やその改善方法

1. 屋外の作業では日射病や蚊などの虫よけ対策の必要がある。
2. 屋外で実習を行う際、雨天時の対応として代替えプログラムの用意が必要となる。
3. 花育は継続的に実施することが重要であり、そのための予算の確保が必要となる。
4. 予算等の問題を解決するには、すべての幼稚園、保育園、小学校で教育カリキュラムに花育が導入されることが望ましい。



植え付けの完成した花壇